

2 0 2 4 年度事業報告書

自 2 0 2 4 年 4 月 1 日
至 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日

目 次

1. 概況報告	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業	1
1) 2024年度定時総会の開催	1
2) 理事会の開催	1
3. 委員会の開催に関する事業	2
1) JAPAN PACK 2025 実行委員会	2
2) 包装学校企画運営委員会	5
3) 広報推進委員会	5
4) 産学連携ワーキンググループ	8
5) ISO/TC 313 国内審議委員会	11
6) 技術委員会	12
7) IoT WG	14
4. 会員等諸会合の開催	16
1) 新年賀詞交歓会	16
2) 歳末特別講演会	16
3) 支部会の開催	16
5. 調査、各種情報事業等に関する事業	17
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査	17
2) 技術情報の収集・提供等	17
3) 各種情報の発信等	17
6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業	18
1) 包装学校事業	18
2) 青年部会	18
3) 各種セミナー・講習会	20
7. 国の施策に関する事業	21
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業	21
8. その他関連事業	21
1) 包装機械会館の運営に関する事業	21
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業	21
3) 福利厚生に関する事業	21
4) 関連産業との連携	21
9. 会員の現況	21
1) 入 会	22
2) 退 会	22
3) 会員登録の変更（かつこ内は旧登録名）	22

1. 概況報告

わが国の包装機械産業における2023年度の生産実績は4,350億円となり、前年度比3.4%増と堅調な成長を記録した。一方、2024年度においては、春闘における賃上げ率がバブル期以来の高水準となり、インフレ経済への回帰が見られたものの、個人消費は期待ほど伸びず、主にインバウンド需要に支えられる構図が続いた。

財務省の貿易統計によれば、2024年の輸出高は前年比1.5%増(1～12月確報値)となり、前年の減少から回復を示した。また、国内の設備投資も回復基調にあり、経済産業省の機械統計では前年比1.4%増(1～12月速報値)となった。これらの動向を踏まえ、2024年度の生産高は前年度を上回る見込みである。

本年度は、事業計画に基づき、国内外の展示会開催をはじめ、各種会員サービスの向上に取り組むとともに、安定的な運営基盤の構築、業界のさらなる発展、および工業会の体制強化に努めた。今後も、業界全体の競争力強化に向けた取り組みを進め、持続的な発展に貢献していきたい。

2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

1) 2024年度定時総会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、2023年度事業報告書ならびに2023年度決算報告書の審議・承認、2024年度事業計画の報告を行った。

本年は任期満了に伴う役員の改選について審議・承認された。総会終了後に懇親会を開催し、会員の親睦を図るとともに情報交換を行った。

※2024年度定時総会

月 日：2024年5月29日（水）

会 場：鉄鋼会館 801号室（東京都中央区）

出席者：103名（委任状による出席も含む）

2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、5月（2回）、9月、11月、3月に計5回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況の確認、各議案の審議・承認、役員の業務執行状況等の報告を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

※第366回理事会

月 日：2024年5月29日（水）

会 場：鉄鋼会館 704号室（東京都中央区）

内 容：新規入会の承認／2024年度定時総会上程議案の確認／2024年度事業計画案・収支予算案の承認／役員の各委員会体制に関する件／役員改選・選考・任期等の基準（内規）変更に関する件／経済産業省ご挨拶及び施策説明

※第367回理事会

月 日：2024年5月29日（水）

会 場：鉄鋼会館 801号室（東京都中央区）

内 容：会長の選出に関する件／役付理事の選任に関する件

※第368回理事会

月 日：2024年9月13日（金）

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

内 容：今後の工業会について／理事会・委員会にかかるペーパーレス化について
／報告事項／経済産業省ご挨拶及び施策説明

※第369回理事会

月 日：2024年12月4日（水）

会 場：ANAクラウンプラザホテル神戸 9階「サフラン」

内 容：役員等賠償責任保険契約に関する件／報告事項／来年度の事業計画策定について／人材確保・育成事業について

※第370回理事会

月 日：2025年3月19日（水）

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

内 容：新規入会の承認／2024年度事業報告書（案）／2024年度決算報告書（案）／2025年度事業計画（案）／2025年度収支予算（案）／P&M通信の広告に関する件／報告事項／今後の工業会の役割と事業活動の方向性／グループ別討議・発表（国際・技術・人材）／役員の各委員会体制に関する件

3. 委員会の開催に関する事業

事業計画に基づき、JAPAN PACK 2025 実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、ISO／TC313国内審議委員会、技術委員会、IOTWGを逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

1) JAPAN PACK 2025 実行委員会

JAPAN PACK 2025 実行委員会（委員長：安達 拓洋 氏 イーデーエム株式会社 社長）は、「JAPAN PACK 2025 日本包装産業展」の2025年10月、東京ビッグサイトでの開催へ向けて、各種委員会活動を推進した。

第35回を迎える「JAPAN PACK 2025 日本包装産業展」のキャッチコピーを『BEYOND | 包むで創る 人と未来と』に設定。サプライチェーンの様々な課題に対する革新的な提案が集結する“Next Stage”としての位置づけとともに、包装業界を代表する業界展の一つとして、新しいアイデアや、未来を示唆するコンセプト等を発信する場としての役割も果たすべく、『BEYOND』をキャッチコピーに採用した。持続可能な社会の実現のために、生産性や効率性を促す多様な新技術と繋がり、イノベーションを“包む”で創り、ひいては人と未来を豊かにするビジョンを掲げて、「包装×DX」および「包装×GX」を軸とした特別企画の設計を中心に、各種開催計画の準備に努めた。

※第4回正副実行委員長会議

月 日：2024年4月8日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：キービジュアルの承認、出展案内計画案の検討、その他

※第1回実行委員会

月 日：2024年4月8日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：開催計画案、開催指針案、実行委員会体制および活動計画案の承認

※第5回正副実行委員長会議

月 日：2024年5月13日（月）

会 場：（株）イシダ 本社（京都市左京区）

内 容：アジア最大級の包装産業展へ向けた成長軸における JAPAN PACK
2025の在り方についてのディスカッション、DX／GXワーキンググ
ループ活動計画案の討議、その他

※第1回DXワーキンググループ会議

月 日：2024年5月21日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：DXワーキンググループ活動計画案の討議

※第1回GXワーキンググループ会議

月 日：2024年5月22日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：GXワーキンググループ活動計画案の討議

※第6回正副実行委員長会議

月 日：2024年6月5日（水）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

内 容：DX／GXワーキンググループ活動計画案の討議
各種活動報告および活動計画案の承認、その他

※第2回DXワーキンググループ会議

月 日：2024年7月17日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：DXに係る導入や取り組み事例の確認、DXの定義へ向けた討議、その他

※第2回GXワーキンググループ会議

月 日：2024年7月17日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：GXの定義へ向けた討議、併催企画案の検討、その他

※「包装ライフサイクルコーナー」キックオフ会議

月 日：2024年7月29日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：前回実績と課題を踏まえた企画案の検討、
ステークホルダーの巻き込みへ向けた討議、その他

※第7回正副実行委員長会議

月 日：2024年9月19日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：出展案内計画案、会場計画案についての討議
各種活動報告および活動計画案の承認、その他

※第2回実行委員会

月 日：2024年9月19日（木）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：「包装×DX」および「包装×GX」の具現化へ向けた討議
各種活動報告および活動計画案についての確認、その他

※第3回DXワーキンググループ会議

月 日：2024年11月12日（火）
会 場：TKPガーデンシティ京都タワーホテル（京都市下京区）
内 容：特別展示企画案およびターゲット企業についての討議
講演会・セミナー計画についての検討、その他

※第8回正副実行委員長会議

月 日：2024年11月12日（火）
会 場：TKPガーデンシティ京都タワーホテル（京都市下京区）
内 容：各種活動報告および活動計画案についての承認、その他

※第3回GXワーキンググループ会議

月 日：2024年11月12日（火）
会 場：TKPガーデンシティ京都タワーホテル（京都市下京区）
内 容：特別展示企画案およびターゲット企業についての討議
講演会・セミナー計画についての検討、その他

※第1回DX特別展示検討会

月 日：2024年12月23日（月）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：特別展示企画案の具体項目（重点課題、取組事例、将来構想）および
表現手法、表現手段等についての検討

※第2回DX特別展示検討会

月 日：2025年1月31日（金）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：特別展示企画案の具現化へ向けた表現手法、表現手段の検討

※第4回GXワーキンググループ会議

月 日：2025年2月4日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：特別展示企画概要案およびターゲット企業案についての討議
講演会・セミナー計画案の検討、その他

※第4回DXワーキンググループ会議

月 日：2025年2月4日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：特別展示企画概要案およびターゲット企業案についての討議
講演会・セミナー計画案の検討、その他

※第9回正副実行委員長会議

月 日：2025年2月4日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：各種活動報告および活動計画案についての承認
2025年度事業計画案についての討議、その他

※第10回正副実行委員長会議

月 日：2025年3月19日（水）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：各種活動報告および活動計画案についての承認
小間割草案等会場計画案の討議、その他

2) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 協和電機株式会社 代表取締役社長）は、本年6月から開講の第51期包装学校ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、下記の委員会活動を推進した。

※第119回包装学校企画運営委員会

月 日：2024年5月20日（月）
場 所：包装機械会館2F会議室
内 容：第51期開講式・オリエンテーションについて

※第120回包装学校企画運営委員会

月 日：2024年9月25日（水）
場 所：株式会社古川製作所（広島県三原市）
内 容：第52期包装学校について／包装学校フォローアップについて

※第121回包装学校企画運営委員会

月 日：2024年12月18日（水）
場 所：包装機械会館2F会議室
内 容：第52期包装学校カリキュラムの決定

※第122回包装学校企画運営委員会

月 日：2025年1月30日（木）
場 所：包装機械会館2F会議室
内 容：第51期ディベートディスカッション・修了式について

3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：下島 敏章氏 ストラパック株式会社 社長）は、関連業界等と連携強化を図りながら以下の委員会活動を推進し、国内外に向けてジャパンプランドを広くアピールすることにより、当工業会ならびに会員企業ひいては関連業界各位の価値向上に繋がるための活動に努めた。

※第29回広報推進委員会

月 日：2024年 5月24日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

議 題：実施事業の報告および今年度の実施計画案について討議

※会員セミナー（第1回）

月 日：2024年 5月31日（金）

会 場：オンライン

発表者：米澤 裕基 氏

CKD株式会社 機器事業本部 市場開発部 課長補佐

主 題：食品ロス削減に向けた窒素ガス置換包装について

参加者：91名

※ProPak Asia 2024日本パビリオン

月 日：2024年 6月12日（水）～15日（土）4日間

会 場：BITEC（タイ・バンコク）

出展者：株式会社エー・アンド・デイ、王子ホールディングス株式会社、大阪シーリング印刷株式会社、大森機械工業株式会社、株式会社オシキリ、株式会社川島製作所、倉敷紡績株式会社、株式会社ケーター製作所、サイエナジー株式会社、澁谷工業株式会社、城南自動機株式会社／株式会社横浜自働機、司化成工業株式会社、株式会社東京自働機械製作所、トキワ工業株式会社、株式会社トパック、ニッカ電測株式会社、株式会社ニッサンキコー、日本ポリスター株式会社、株式会社日阪製作所、株式会社古川製作所、ホクショー株式会社、株式会社三橋製作所、村田機械株式会社、株式会社メイワ、レオン自動機株式会社、一般社団法人日本包装機械工業会、
（以上、26社・団体、588㎡／約66小間）

※会員セミナー（第2回）

月 日：2024年 6月26日（水）

会 場：オンライン

発表者：平間 健吾 氏

株式会社日本HP 3Dプリンティング事業部 アプリケーションエンジニア

主 題：サステナビリティに貢献するHPの3Dプリンティング・ソリューション提案

参加者：36名

※第30回広報推進委員会

月 日：2024年 7月30日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

議 題：実施事業の報告および今年度の実施計画案について討議

※日本包装機械工業会セミナー

月 日：2024年 7月30日（火）

会 場：オンライン

講 師：伊原 崇全 氏

双日プラネット株式会社 パッケージングセグメント 高機能パッケージングBU 第2課 担当課長

主 題：資源循環型社会へ向けた包装資材の取り組み

参加者：78名

※会員セミナー（第3回）

月 日：2024年 9月 4日（水）

会 場：オンライン

発表者：大鋸 新 氏

旭化成株式会社 感光材営業部 課長

主 題：持続可能な未来を拓く～パッケージ印刷の環境負荷低減への挑戦～

参加者：74名

※会員セミナー（第4回）

月 日：2024年10月18日（金）

会 場：オンライン

発表者：柴山 考司 氏

フエスト株式会社 テクノロジーマネージメントマネージャー

主 題：高精度な制御と省エネを実現する Controlled Pneumatics

参加者：24名

※TOKYO PACK 2024「包装談話室」企画

月 日：2024年10月23日（水）～25日（金）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

内 容：広報推進委員がブース来訪者に対し、包装に関する談話や相談を実施

件 数：3件

※会員セミナー（第5回）

月 日：2024年11月18日（月）

会 場：オンライン

発表者：大原 岳彦 氏

SMC株式会社 グローバル推進部 製品戦略課 課長代理

主 題：カーボンニュートラルの実現へコンプレッサーエアの消費量削減の手法

参加者：26名

※第31回広報推進委員会

月 日：2024年11月26日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

議 題：実施事業の報告および今年度の実施計画案について討議

※Next Package 2024出展

月 日：2024年11月28日（木）

会 場：秋葉原 UDX Gallery NEXT（東京都千代田区）

内 容：①P&M通信のアピール

②包装機械コンサルティング（ユーザー・包材メーカーとの交流）

※第32回広報推進委員会

月 日：2025年 1月31日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

議 題：実施事業の報告および次年度の事業計画案について討議

※日本包装機械工業会セミナー

月 日：2025年 1月31日（火）

会 場：オンライン

講 師：坂東 宏俊 氏

エーザイ株式会社 DHBL PSTファンクション 製剤研究部

主 題：サステナブル医薬品包装推進コンソーシアムおよびエーザイの環境負荷低減に関する活動紹介

参加者：83名

※2025モバックショウ「P&M通信」アピール企画

月 日：2025年 2月19日（水）

会 場：インテックス大阪（大阪府大阪市）

内 容：①会場巡回ツアー

名 称：「P&M通信」編集局長といく製パン・製菓版包装物実遊散ツアー

コンダクター：宝坂 健児 氏

一般社団法人日本包装機械工業会「P&M通信」編集局長

参加者：15名

内 容：②セミナー

主 題：プラスチック資源循環促進法と食品の包装分野への影響と現状、今後

講 師：松田 修成 氏

株式会社東洋紡パッケージング・プラン・サービス シニアアドバイザー

参加者：42名

※会員セミナー（第6回）

月 日：2025年 2月26日（水）

会 場：オンライン

発表者：①樋口 貴久 氏

株式会社日本包装リース 東日本営業部長

②山本 夏穂 氏

富士フイルム株式会社 アドバンストファンクショナルマテリアルズ事業部 営業・マーケティング担当

主 題：ヒートシールの圧力定量化とデータ利活用

参加者：143名

4）産学連携ワーキンググループ

産学連携ワーキンググループ（リーダー：神谷 泰仁 氏 マキエ・エンジニアリング株式会社 社長）は、包装業界がいかに生活に身近で、社会貢献度の高い業界であるかを広く周知し続け、業界の認知度を向上させるとともに、人手不足や採用難などの業界共

通の課題解決に貢献することを主な目的とし、活動に努めた。

※産学連携ワーキンググループの発足

月 日：2024年 4月 1日（月）

委 員：イーデーエム株式会社、大森機械工業株式会社、
株式会社ケーター製作所、ストラパック株式会社、
ゼネラルパッカー株式会社、株式会社東京自働機械製作所、
PACRAFT株式会社、株式会社フジキカイ（以上、7社）

※第1回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2024年 4月12日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

議 題：委員構成、2024年度事業計画案、直近の活動について討議

※第2回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2024年 5月16日（木）

会 場：オンライン

議 題：教育機関との連携、包装業界イベント企画について討議

※第3回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2024年 6月20日（木）

会 場：オンライン

議 題：包装業界就活フェスタおよび今後の活動について討議

※第4回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2024年 7月24日（水）

会 場：オンライン

議 題：包装業界就活フェスタに関する各種進捗および今後の活動について討議

※包装業界就活フェスタ出展者説明会

月 日：2024年 9月 5日（水）

会 場：オンライン

内 容：包装業界就活フェスタおよび企画に関する内容説明、質疑応答

参加者：27名

※第5回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2024年 9月24日（火）

会 場：オンライン

議 題：包装業界研究フェア最終確認、あさがくナビの就職博およびTOKYO
PACK 2024見学ツアーについて討議

※包装業界就活フェスタ「包装業界研究フェア」

月 日：2024年 9月28日（土）

会 場：秋葉原UDXギャラリー（東京都千代田区）

出展者：イーデーエム株式会社、大森機械工業株式会社、株式会社川島製作所、株
式会社カジワラ、株式会社ケーター製作所、CKD株式会社、株式会社シ
ンク・ラボラトリー、ストラパック株式会社、ゼネラルパッカー株式会

社、ニッカ電測株式会社、日本ポリスター株式会社、PACRAFT株式会社、株式会社フジキカイ（以上、13社）

内 容：包装業界ガイダンス、企業ショートPR、企業説明、
対策講座（企業研究、自己分析、面接対策）、
トークイベント（営業事務系向け、技術系向け）、
カタログコーナー、包装サンプルコーナー、スタンプラリーイベント

来場者：56名

※包装業界就活フェスタ「あさがくナビの就職博インターンシップ&キャリア編
包装業界研究エリア～パッケージの世界に出会おう～」

月 日：2024年10月20日（日）

会 場：新宿NSビル（東京都新宿区）

出展者：イーデーエム株式会社、大森機械工業株式会社、株式会社川島製作所、株式会社カジワラ、株式会社シンク・ラボラトリー、PACRAFT株式会社、株式会社フジキカイ（以上、7社）

内 容：共通装飾・資料配布、相互案内、ミニ包装サンプルコーナー、包装クイズ

※包装業界就活フェスタ「TOKYO PACK 2024見学ツアー」

月 日：2024年10月23日（水）～25日（金）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

参加社：大森機械工業株式会社、株式会社シンク・ラボラトリー、ストラパック株式会社、ニッカ電測株式会社、PACRAFT株式会社、株式会社フジキカイ（以上、6社）

内 容：ミニガイダンス、見学ツアー、質疑応答／自由視察

参加者：8名

※第6回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2024年11月20日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

議 題：包装業界就活フェスタの報告、今後および次年度計画について討議

※第7回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2025年 1月28日（火）

会 場：オンライン

議 題：あさがくナビへのエリア出展、包装業界認知度向上ウェブサイト制作、
名城大学・東京工科大学との連携企画、
JAPAN PACK 2025学生向け研究成果発表プロジェクト、
採用勉強会、次年度計画等について討議

※東京工科大学デザイン学部による工場見学会および意見交換会

月 日：2025年 2月21日（金）

会 場：ストラパック株式会社 横浜工場（神奈川県横浜市）

内 容：製品・製造現場の見学、包装業界の魅力・認知度向上に向けた意見交換

参加者：12名（大学教授：3名、ワーキンググループ・事務局：9名）

※第8回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2025年 2月28日（金）

会 場：オンライン

議 題：包装業界認知度向上ウェブサイト制作、名城大学・東京工科大学との
連携企画、JAPAN PACK 2025学生向け研究成果発表プロジェクト、採用勉強会について討議

※第9回産学連携ワーキンググループ会議

月 日：2025年 3月17日（月）

会 場：オンライン

議 題：包装業界認知度向上ウェブサイト制作、名城大学・東京工科大学との
連携企画、JAPAN PACK 2025学生向け研究成果発表プロジェクト、採用勉強会について討議

5) ISO/TC313国内審議委員会

ISO/TC313国内審議委員会（委員長：福田 隆文氏 長岡技術科学大学名誉教授）は、昨年度に引き続き、イタリアから提案された包装機械におけるEN415規格のISO化（ISO/TC313）に伴い、国内審議委員会活動及び国際会議への参加を実施した。

※ISO国内審議委員会 幹事会

月 日：2024年4月4日（木）

会 場：包装機械会館 1F会議室

内 容：今後計画

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2024年4月10日（水）、17日（水）、18日（木）

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：N文書コメントに対する各国の審議・承認

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2024年5月27日（月）、28日（火）、29日（水）

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：N文書コメントに対する各国の審議・承認※ISO国内審議委員会

月 日：2024年7月1日（月）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：ISO/TC313/WG1、AHG1及び次回全体会議の報告及び岩本委員紹介

※ISO/TC313/AHG1国内審議委員会 幹事会

月 日：2024年7月12（金）

会 場：包装機械会館 1F会議室

内 容：N文書コメントに対する審議

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2024年7月24日（水）、25日（木）、

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：N文書コメントに対する各国の審議・承認

※ISO/TC313/AHG1国際会議

月 日：2024年8月22日(木)、

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：N文書コメントに対する各国の審議・承認

※ISO/TC313/AHG1国際会議

月 日：2024年10月16日(水)、

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：N文書コメントに対する各国の審議・承認

※ISO/TC313/WD1国内審議委員会 幹事会

月 日：2024年10月21日(木)

会 場：オンライン

内 容：N文書コメントに対する審議

※ISO/TC313/AHG1国際会議

月 日：2024年11月13日(水)、

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：N文書コメントに対する各国の審議・承認

※ISO/TC313国際会議（全体会議）

月 日：2024年11月14日（木）

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：ISO/TC313コンセンサスに対する各国の合意

※ISO/TC313/WD1国内審議委員会 幹事会

月 日：2025年2月13日(木)

会 場：包装機械会館 1F会議室

内 容：N文書コメントに対する審議

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2024年2月24日(月)～28日(金)

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン会議

内 容：N文書コメントに対する各国の審議・承認

※ISO/TC313国際会議（全体会議）

月 日：2025年3月14日（金）

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：ISO/TC313コンセンサスに対する各国の合意

6) 技術委員会

技術委員会（委員長：牧野 研二氏（ゼネラルパッカー株式会社社長））は、技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定した上で、包装機械を取巻く環境変化

への対応や産学・産産連携、工場見学等を計画し実施した。

※株式会社デンソーウェーブ 見学会及び意見交換会

月 日：2023年7月13日(木)

会 場：(株)デンソーウェーブ 愛知県知多郡

内 容：工場見学会及び意見交換会

技術委員会、IoT WG 合計13名参加

工場のご紹介

ロボットを使った組立～在庫・発送見学

意見交換会

※2024年度第1回技術委員会

月 日：2024年5月14日(火)

会 場：貸会議室みらい

内 容：1. 新委員 ご挨拶

2. IoT WG 指針案発表報告 3. ISO 国内審議委員会 報告

4. 本年度 技術委員会実行計画について

※2024年度第2回技術委員会

月 日：2024年9月27日(金)

会 場：(株)資生堂 福岡県久留米市

内 容：1. IEC62443 講演（意見交換）

2. IoT 報告

3. ISO 報告

4. 工場訪問提案

5. AIセミナーにつきまして

6. PPWR 紹介

※2024年度第3回技術委員会

MAZAK工場 見学会及び意見交換会

月 日：2024年12月16日(月)

会 場：MAZAK美濃加茂第2工場及び第1工場ショールーム

内 容：工場見学及び意見交換

① 技術委員会、IoT WG 合計18名参加

② 工場ご紹介

③ 意見交換会

※2024年度第4回技術委員会

AIセミナー開催

月 日：2025年1月27日(月)

会 場：包装機械会館2F会議室

講 師：IoT R&D 入鹿山理事

内 容：グループディスカッショングループディスカッション

包装・荷造り機械の安全基準 増補版 WG 選定

※2024年度第5回技術委員会

カーボンニュートラルセミナー開催

月 日：2025年3月18日（火）

会 場：包装機械会館2F会議室

講 師：東洋紡PPS松田様

内 容：グループディスカッション

IoT WG 標準化指針 包装機メーカー向け ウェビナー結果報告

7) IoT WG

包装機械類標準仕様の検討となる IoT 導入・活用の「指針」をまとめ、周知することにより包装機械業会及びユーザー業界双方の生産性向上に寄与する。その具体的な内容を検討する専門家会議として、本WG（リーダー：福井 健二氏 株式会社協和電機 取締役）を発足し、継続活動した。

※第18回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年4月19日（金）

会 場：ポートメッセ名古屋

内 容：味の素様訪問準備

※標準化指針案発表

月 日：2024年5月10日（金）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：発表・説明

※第19回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年5月30日（木）

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：指針案発表総括

TokyoPackパネルディスカッション

※第20回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年6月25日（火）

会 場：オンライン

内 容：説明会開催案検討

IAF 報告

※第21回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年8月23日（水）

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：i-acloud検討

※第22回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年10月7日（月）

会 場：包装機械会館 2F 会議室
内 容：パネルディスカッション討議

※TokyoPack パネルディスカッション

月 日：2024年10月25日(金)
会 場：TokyoBigサイト 東6ホールB会場
テーマ：IoTと包装技術

※TOPPAN群馬工場見学

月 日：2024年11月5日(火)
会 場：TOPPAN群馬工場
内 容：意見交換会

※第23回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年11月21日(水)
会 場：包装機械会館 2F 会議室
内 容：TokyoPackパネルディスカッション総括
PLCメーカーサンプルラダー依頼検討

※第24回 IoT WG ミーティング

※MAZAK工場見学

月 日：2024年12月16日(月)
会 場：マザック美濃加茂工場
内 容：工場見学後意見交換
技術委員会への経過報告

※第25回 IoT WG ミーティング

月 日：2025年1月14日(火)
会 場：包装機械会館 2F 会議室
内 容：JapanPackへの出展準備
IoT推進と課題検討

※第26回 IoT WG ミーティング

月 日：2025年2月19日(水)
会 場：包装機械会館 2F 会議室
内 容：フォーマットネーミング：JPack-Fmt
正式発表日程調整

※包装機械メーカー向けウェビナー

月 日：2025年3月4日(火)
会 場：オンライン
内 容：指針内容、メーカーのメリット、今後の予定

※第27回 IoT WG ミーティング

月 日：2025年3月4日(火)
会 場：オンライン

内 容：ウェビナー総括
アイテム項目検討

4. 会員等諸会合の開催

2024年度事業計画に基づき、新年賀詞交歓会、歳末特別講演会、支部会を開催した。

1) 新年賀詞交歓会

関係官公庁、当会会員、関連団体、金融関係等の方々をお招きして、当会と株式会社日本包装リースと合同で、2025年新年賀詞交歓会を開催した。

※2025年新年賀詞交歓会

月 日：2025年1月15日（水）
会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」
出席者：282名

2) 歳末特別講演会

事業計画に基づき、2024年度歳末特別講演会を開催した。

※2024年度歳末特別講演会

月 日：2024年12月 4日（水）
会 場：ANAクラウンプラザホテル神戸 9階『ジャスミン』（兵庫県神戸市）
テーマ：政治に左右される内外経済動向
講 師：株式会社日本政策投資銀行
設備投資研究所 担当部長 蜂谷 義昭氏
テーマ：世界のプラスチック包装規制の動きと米国包装機械市場の現状と予想
講 師：株式会社東洋紡パッケージプランサービス
シニアアドバイザー 松田 修成 氏
出席者：50名

3) 支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として東日本支部、西日本支部を開催した。2024年度事業計画案の報告ならびに講師をお招きして講演会を開催した。

※東日本支部会

月 日：2025年3月11日（火）
会 場：包装機械会館 2階会議室（東京都中央区）
内 容：事業報告及び事業計画案等について／経済産業省の施策概要について
講演会：リスクマネジメントとしての経済安全保障
講 師：三菱電機株式会社 執行役員 経済安全保障統括室長 伊藤 隆氏
出席者：25名

※西日本支部会

月 日：2025年3月12日（水）

会 場：フォーチュンガーデン京都（京都市中京区）

内 容：事業報告及び事業計画案等について／経済産業省の施策概要について

講演会：環境配慮設計とDNP環境配慮パッケージングGREEN PACKAGING

講 師：Lifeデザイン事業部 BCセンター サービス開発本部

環境ビジネス推進部 部長

柴田 あゆみ氏

出席者：28名

5. 調査、各種情報事業等に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の市場調査をはじめ、技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、P & M通信・ウェブサイト・メール等を通じ、広く一般に公開し、わが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、2023年度の生産高と輸出入高ならびに2024年度の生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

2) 技術情報の収集・提供等

(1) 技術センター事業

技術センターの事業として、包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進に努めた。

また、機械安全・CEマーキング等の相談に対応した。安全・衛生指導事業は今後も継続する。

(2) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」（日本語版）を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布を継続した。

3) 各種情報の発信等

(1) 機関媒体「P & M通信」の発信に関する事業

当会ウェブ機関誌「P & M通信」を毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

(2) 電子媒体の活用に関する事業

日包工・ジャパンパックのウェブサイトでの情報発信をはじめ、メールを通じ、関連省庁からの周知依頼、当会ならびに関連団体の行事等の情報の発信に努めた。また「インターネット製品PRコーナー（日本語・英語・中国語）」の掲載を通じ、会員企業製品の需要喚起に努めた。

6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業

1) 包装学校事業

わが国包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第51期包装学校を開講した。本年度は、2024年6月の開講式・オリエンテーションから2025年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・デジタル制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第51期までの修了者は5,427名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

※第51期包装学校の課程別修了生（計118名）

- | | |
|---------------------|-----|
| 1) 包装機械設計技術専門課程 | 62名 |
| 2) パッケージングエンジニア専門課程 | 45名 |
| 3) デジタル制御技術専門課程 | 11名 |
| ・ モーション制御講座 | |

【第1期から第51期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数（人）		修了者数（人）	
	5 1期	1～5 1期計	5 1期	1～5 1期計
1. 包装機械設計技術課程	62	3,127	62	3,015
2. パッケージングエンジニア課程	45	2,269	45	2,169
3. デジタル制御技術課程	11	333	11	243
合 計	118	5,729	118	5,427

2) 青年部会

日本包装機械工業会の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：古城 美将 氏 城南自動機株式会社 社長）は、以下の事業実施等を通じて会員相互の研鑽に努めた。

※2024年度定時総会

月 日：2024年 4月 9日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

議 案：2023年度事業報告書案、2024年度役員体制案、2024年度事業計画書案についての審議

出席者：48名（会場：28名、委任状：20名）

※講演会

月 日：2024年 4月 9日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

講 師：下島 敏章 氏
ストラパック株式会社 代表取締役社長執行役員
主 題：海外へは行ってみるものだ！
参加者：46名

※第88回幹事会

月 日：2024年 5月14日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
議 題：2024年度事業計画書案等について討議

※研修会

月 日：2024年 7月18日（木）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
講 師：大島 康義 氏
株式会社大島康義経営研究所 代表取締役 後継社長専門
事業承継&企業変革コンサルタント
主 題：目から鱗！経営者から若手リーダー候補まで納得の成長論
参加者：28名

※勉強会オリエンテーション

月 日：2024年 7月18日（木）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
テーマ：皆さまの『外部ブレイン』、勉強会の意義とは
参加者：19名

※第89回幹事会

月 日：2024年 8月26日（月）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
議 題：2024年度事業計画書案等について討議

※夏季セミナー

月 日：2024年 9月11日（水）、12日（木）
内 容：①第1回勉強会
テーマ：「人材育成および評価」
会 場：Karui zawa Prince The Workation Core
（長野県北佐久郡）
内 容：②工場見学会
会 場：軽井沢ブルワリー（長野県軽井沢町）
参加者：49名

※インドネシア包装市場視察ツアー

月 日：2024年10月 8日（火）～11日（金）
会 場：J I E x p o（インドネシア・ジャカルタ市）他
内 容：ALL P a c K I N D O N E S I A 2024、現地工場（P T H
e r l i n a I n d a h社）、現地スーパーマーケット視察およびイ
ンドネシア市場ブリーフィング参加等

参加者：12名

※第90回幹事会

月 日：2024年11月14日（木）

会 場：株式会社東陽機械製作所（愛知県名古屋市）／オンライン

議 題：実施事業の振り返りおよび今後の事業計画について討議

※第2回勉強会

月 日：2024年11月19日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

テーマ：「人材育成と評価」および「社内／ものづくりのDX化」

参加者：24名

※2025年新年情報交換会

月 日：2025年 1月14日（火）

会 場：東天紅上野本店（東京都台東区）

参加者：51名

※第91回幹事会

月 日：2025年 1月15日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

議 題：2025年度役員体制案、2025年度事業計画案、勉強会について討議

※第92回幹事会

月 日：2025年 2月 6日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

議 題：2024年度事業報告書案、2025年度役員体制案、2025年度事業計画書案、2025年度定時総会・併催行事、夏季セミナーについて討議

※第3回勉強会

月 日：2025年 2月 6日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

テーマ：「社内／ものづくりのDX化」および「ダイバーシティ」

参加者：23名

※会員名簿PDF版の運用

3) 各種セミナー・講習会

(1) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会の開催

日本包装機械工業会は、(一社)安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会をオンラインにて開催した。

職業能力開発総合大学校（東京都小平市）

① 機械の安全化と国際安全規格編 （2日）

2024年12月5日、6日

② 機械安全におけるリスク低減編 （2日）

2025年1月16日、17日

③ リスクアセスメントの実践と妥当性確認編 (2日)

2025年2月 6日、 7日

④ 電気制御システム編 (2日)

2025年3月 6日、 7日

(2) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会の開催

2024年度事業で開催するため、高度ポリテクセンターと協議し、下記日程で開催した。

関東会場 高度ポリテクセンター 2024年11月 6日、 7日

関西会場 ポリテクセンター関西 2025年 2月19日、20日

新潟会場 ポリテクセンター新潟 2024年11月12日、13日

7. 国の施策に関する事業

1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

当会は2016年7月にスタートした中小企業等経営強化法の証明書発行団体として、2016年8月から証明書の発行を開始し、累計の発行数は10,957通で、その内訳は正会員7,418通、賛助会員1,045通、非会員2,494通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。*2月時点

本年度の証明書発行(664通)の内訳は次の通りである。

正会員 443通(証明書発行手数料は1通に付 2,000円)

賛助会員 70通(同上)

非会員 151通(証明書発行手数料は1通に付 10,000円)

8. その他関連事業

1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに本年度より新たに会員向けサービスが拡充された、出資業務・アドバイザー業務などの利用促進に努めた。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努めた。

3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

4) 関連産業との連携

日本製パン製菓機械工業会、日本粉体工業技術協会、日本化粧品工業連合会、日本冷凍食品協会をはじめ包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの関連機関との産業連携を推進し、包装機械業界の発展に努めた。

9. 会員の現況

2025年3月31日現在の会員数は正会員143社、賛助会員118社、合計26

1 社となっている。2024年度の入会、退会の状況は次の通りである。

1) 入 会

＜正会員2社＞

株式会社ダイワハイテックス、株式会社和広エンジニアリング

＜賛助会員5社＞

E80 グループジャパン合同会社、株式会社M2X、大日製罐株式会社、
株式会社トップ、Valco Melton Japan 株式会社

2) 退 会

＜正会員2社＞

株式会社イチネンアクセス、三菱重工機械システム株式会社

＜賛助会員5社＞

株式会社 TANAX、ヴィッテンシュタイン株式会社、株式会社テクロンジャパン、
日東電工CSシステム株式会社、日本紙通商株式会社

3) 会員登録の変更（カッコ内は旧登録名）

王子コンテナ株式会社（王子ホールディングス株式会社）、
カナデビア株式会社（日立造船株式会社）